



「お魚一匹まるごと食育教室」を開催しました。

6月11日(土)、6月の「かがわ食育月間」にあわせて、骨のある魚の食べ方を学ぶ「お魚一匹まるごと食育教室」を香川県水産課の協力のもと開催しました。

これは、魚料理が嫌いな子どもが多く、嫌いな理由として、「骨がある」「食べるのが面倒」が上位にあげられており、骨がある一匹の魚の食べ方を学び、魚料理に親しむ機会を増やすことを目的としたものです。

講師は、県が養成した「お魚一匹食べよう伝道師」の石原千代子さんで、はじめに魚の構造・栄養や箸の持ち方、骨のある魚の食べ方について講義を行いました。

実習では、実際にアジの三杯酢を食べました。普段、一匹ものの魚を食べることがほとんどない子ども、頑張っている姿が見られました。実習終了後の質問タイムでは、「魚の内臓は、どうして食べないのですか」、「食べられない魚はありますか」など、子どもたちから質問がありました。

参加者からは、「お魚一匹初めて食べられました。」、「もっと、食卓に魚を出そうと思います。」などの感想をいただきました。

こんなんしよるで〜 ① 〜館内 各コーナーのテーマ展示〜

県立図書館では、閲覧室の展示コーナーのほか、各コーナーでもテーマ展示を行っています。

各コーナーの書架に並んでいる本の中から、そのときどきの話題のテーマや、利用者みなさんに興味を持ってもらえそうなテーマを決めて、本を選び、展示しています。展示している本は貸出ができます。どうぞご利用ください！

健やか生活応援コーナー

2か月に一度、「医療・健康・介護・生きがい」のジャンルからテーマを選んで、ミニ展示を行っています。7月は「脂質異常症」に関する展示です。



イベント関連本展示

新着図書コーナー近くで、イベントや県の取り組みなどに関連するテーマで展示を行っています。今年度は、これまでに瀬戸内国際芸術祭や夏季オリンピック・パラリンピックにちなんだ展示などをおこないました。



ヤングジェネレーション Young Generationコーナー

月1回程度、中高校生の興味・関心のある、季節や時事にあったテーマでミニ展示をしています。夏休み期間中は、宿題に役立つ本を展示します。



子育て支援コーナー

年4回程度、子育てに関する様々なテーマで、企画展示を行っています。7月は食育に関する展示をしています。



児童資料コーナー

毎月テーマを決めて、「今月の本」を紹介しています。7月のテーマは、「オリンピック・パラリンピックとスポーツの本」です。



どのコーナーの展示も、1〜3か月で新しいテーマに替わります。今後、どんなテーマの本が並ぶのか、お楽しみに！

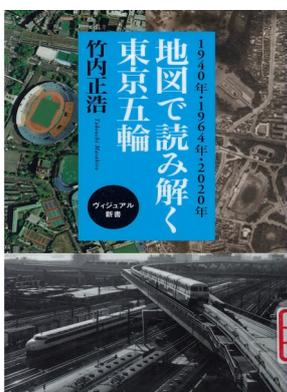
この本オススメです！

～オリンピックの本～

今年は、4年に一度の夏季オリンピック・パラリンピックがブラジルで開催されます。日頃はあまりスポーツ観戦に興味がない方でもオリンピックだけは、テレビで観戦するという方も多いのではないのでしょうか。

そして、次の夏季オリンピックは、いよいよ東京での開催となります。昨年、内閣府の行った世論調査では、2020年の東京大会に関心があると答えた人が80%以上と、早くも関心が高まっているようです。

そこで、今回は、今、関心を集めているオリンピックの魅力について、いろいろな角度から知ることのできる本を紹介します。



『地図で読み解く東京五輪 1940年・1964年・2020年』
竹内正浩／著（ベストセラーズ）2014. 11
（請求記号：7806 T12）

本書は幻の1940年の東京オリンピック、1964年、2020年の東京オリンピックに伴う施設建設などのインフラに焦点を当て、それらを地図や写真などを用いて解説したものです。

地図で読み解くという今までにない角度から東京オリンピックが体感できる一冊です。



『コンセプトはアスリート・ファースト
オリンピック・パラリンピック「2020東京」』
廣畑成志／著（本の泉社）2015. 3
（請求記号：7806 H13）

本書タイトルの「アスリート・ファースト」は、耳慣れない言葉ですが、筆者は“選手が主人公”という意味で使っています。車いすテニスの国枝選手など、オピニオンの存在のアスリートたちの魅力的な姿を紹介しています。このコンセプトが2020年の東京オリンピックで定着することを切に願って書かれた本です。



『これならわかるオリンピックの歴史Q&A』
石出 法太／著, 石出 みどり／著（大月書店）
2016. 4
（請求記号：7806 I8）

古代からのオリンピックの歴史とこれからのオリンピックについて、88の質問と回答で知ることができます。「なぜギリシアでオリンピックがはじまった？」「日本はいつからオリンピックに参加した？」など、オリンピックに関する様々な雑学が身に付くこと間違いなしの一冊です。

「こども読書まつり」を開催しました。

毎年、「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）にあわせて「こども読書まつり」を開催しています。おはなし会や紙芝居会のほか、コンサートや工作教室など、図書館を利用したことのない子にも楽しんでもらえる行事です。

おはなし会では、絵本や紙芝居、手遊びなどを楽しみました。

伝承手づくりおもちゃ教室、フラワーアレンジメント教室では、親子で協力して、立派な作品が出来上がっていました。

また、今年は初めての音楽のイベントを二つ行いました。一つは琴や尺八など、日本の楽器の演奏会、もう一つはフルートやキーボードの演奏の後、世界の珍しい楽器に触れるイベントです。どちらも、赤ちゃんから大人までおおぜいの方に楽しんでいただきました。

これからも、図書館に来てくれる子どもが増え、本や読書に親しむきっかけとなる行事を企画していきたいと思えます。



平成27年度 香川県立図書館の統計データがまとまりました！

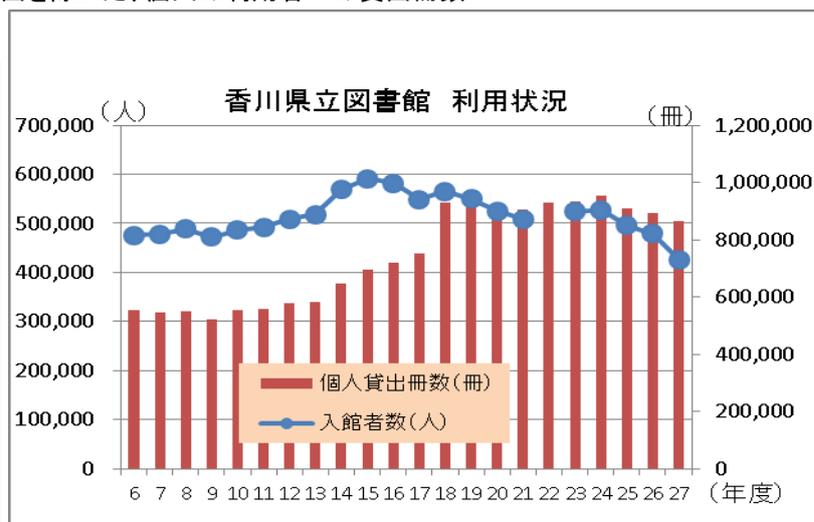
	開館日数	入館者数(人)		* 個人貸出(冊)	
		合計	1日平均	合計	1日平均
平成27年度	294	426,617	1,451	864,099	2,939
平成26年度	298	478,821	1,607	893,122	2,997
増減	▲ 4	▲ 52,204	▲ 156	▲ 29,023	▲ 58

* 団体貸出と図書館への貸出を除いた、個人の利用者への貸出冊数

右図は、開館から、昨年度までの利用状況のグラフです。

平成27年度は、防災設備改修工事に伴い一般閲覧室等を11月中旬から約3ヶ月間閉鎖することになり、その間は一部施設を使つての開館となりました。そのため、入館者数、個人貸出冊数とも前年度を下回る結果となりました。

県立図書館は、今年度も、蔵書の充実や、さまざまな企画の実施を予定しています。どうぞご利用ください！



*平成22年度の入館者数は、機器の故障により未測定

※詳しい統計データは香川県立図書館ホームページをご覧ください。 <http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19 (香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>